

## 稲葉 K様邸

伝統構法をできるだけ安価で実現するにはどうしたらよいのか。

この家はこの課題に対して、施主さんと一緒に取り組んでできた家です。

現在流通している柱の長さは、3m、4m、6mの3種類。

通常、家は1階、2階とも3mの柱を建ててつくります。

K様邸は、4mの柱1本で1階と2階を振り分けて使いました。

2階はほぼ寝だけの部屋なので普通の家のような高さはいらない。

低い方がむしろ隠れ家的な雰囲気があっていい。

1階の天井の高さについても、通常より低く作られています。

2階は普通なら屋根裏となるスペースです。

伝統構法は長寿命で耐震性にすぐれるだけでなく、こうした創造性ある木組みが可能です。

### \* 構造材 \*

柱: 杉

土台: ヒノキ

梁: ヒノキ、カラマツ

### \* 仕上げ \*

床: 赤松、杉

壁: 漆喰、土壁中塗り仕舞い

天井: 構造表し

外壁: 漆喰、焼き杉





















